

西田 社協だより

第30号

10月~3月 下半期の事業
発行：西田地区社会福祉協議会
(西田コミュニティセンター内)
TEL: 0853-63-1373

※社会福祉協議会の事業は、「出雲市社会福祉協議会」の会費、寄附金及び共同募金を財源とした出雲市社会福祉協議会地区社協等活動総合支援事業の助成金」を財源の一部として行います。

認知症予防研修会 3月19日(土)

講師：介護老人保健施設まんだ 介護福祉士
認知症キヤラバンメイト

川谷美佐子氏

西田コミュニティセンターにおいて今年も社会福祉協議会、健康づくり推進員との共催で、認知症予防研修会を開催しました。今年の研修会は、講師に認知症キヤラバンメイトで老健まんだの介護福祉士の川谷美佐子さんにご講演いただきました。

今回の研修会は、まだコロナ禍でもありましたが、密にならないように定員を設け、体温測定・手指消毒・マスクの着用等徹底して開催しました。

「認知症のこと また認知症の人との接し方について学びましょう」と題してお話いただきました。まず、認知症の早期発見のめやすをわかりやすくお話いただきました。次に、おかしなところがあつたら早めに受診をして早期発見・早期治療、また進行を遅らせることにつながることも様々な介護の情報を得ることができるといことも教わりました。また、認知症の病気をもちながら生活をするということは、よるべなく不安でつらい状態で、日々怖い顔で叱られるストレスを抱えているとお話しされました。

認知症の人とのコミュニケーションの取り方。

一、驚かせない 二、急がせない 三、自尊心を傷つけないの三つの柱があり、具体的なポイントとして、余裕をもって対応すること。後ろから声をかけない。相手に視線を合わせて、やさしい口調で。このことだった。

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりとして私たちができることとして、一、認知症を自分のこととしてとらえ、学ぶこと。二、認知症の人の不安や混乱した気持ちを理解するように努めること。三、認知症の人が、自由に街に出かけられるように応援すること。四、認知症の人や家族が笑顔で暮らしていけるように一緒に考えること。五、市民や企業人として、できることを行い、安心して暮らせる街づくりを目指していきましようとの締めくくりに終わりました。

二時間ほどの研修会でしたが、参加された皆さんは認知症予防について再認識して帰られたと思います。



サロン事業を実施しました!!

今年度のサロン事業は、感染対策をしっかりと講じながら無事開催しました。若干新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で取りやめにしたサロンもありますが、様々なサロン事業を開催しました。さらに次年度も継続していきますので、ぜひたくさんのご参加をお願いします。



フレイル予防講座

健康体操



特殊詐欺と交通安全のお話



健康体操



特殊詐欺と交通安全のお話



サロン事業のお手伝いをしていただけるボランティアスタッフを募集します。お手伝いをしてもいいとお考えの方は、コミュニティセンターまでご一報ください。

ふれあい遠足

11月11日(木)
11月18日(木)

今年度初の企画で、「ふれあい遠足」を実施することになりました。

この遠足は、遠くへ行くのではなく、平田地域の場所を訪ねることにして、今回は、東地区の方面へ行くことにしました。訪問先は、一畑薬師・本性寺・佐香(松尾)神社。今回は、バスでの移動なので密を避けるために、実施日を2回に分けて行いました。平田地域でもなかなか行くことのない他地区へ行くことができ、良かったと感想を述べられた参加者もおられました。

次年度もこの「ふれあい遠足」は実施したいと思っておりますので、ぜひ該当の方は、参加をお待ちしております。また、希望する場所があれば、西田コミュニティセンターまでご一報下さい。参考にさせていただきます。



一畑薬師



本性寺



佐香神社

